

様式 1

令和 5 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

1 研究課題名

札幌市の特別支援教育における学習環境の構築と多様なニーズに応じた支援方法の開発

2 研究代表者

札幌校・教授・安井友康

3 研究分担者・研究協力者

札幌校・准教授・齊藤真善：研究分担者
札幌校・准教授・千賀 愛：研究分担者
札幌校・准教授・山下公司：研究分担者
札幌校・准教授・池田千紗：研究分担者
教職大学院・准教授・川俣智路：研究分担者
附属小中学校・ふじのめ学級教員：研究協力者

4 令和 5 年度研究計画の達成度

- a 計画とおり達成した
 b 概ね達成した
 c あまり達成できなかった
 d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

5 学術的成果

【論文投稿】

池田千紗・その他、特別支援学級における学校作業療法—学内連携から地域連携へと広がった実践—、日本発達系作業療法学会誌 11(1)、2024 年 3 月（印刷中）

【書籍出版】

子どもの感覚運動機能の発達と支援－発達の科学と理論を支援に活かす－改訂第2版、池田千紗・その他、メジカルビュー社、2024年3月3日

【学会発表】

- 第28回日本アダプテッド体育・スポーツ学会、2023年12月、愛知県、池田千紗、通級級指導教室における教員と作業療法士の協働－鉄棒の技習得を目指した1事例－
- 日本LD学会第32回大会、2023年10月、広島県、清水夕貴、池田千紗、特別支援学級における作業療法士と連携した運動指導実践による一事例の変化
- 日本LD学会第32回大会、2023年10月、広島県、山下公司、池田千紗、岩渕友美、通常の学校における作業療法士の校内支援活用プログラムの検討

【その他】

6 実践的成果

【教材】

【評価方法】

【指導（授業）案】

【教育方法】

【その他】

- 第146回北海道言語障害児臨床研修会、2023年9月、作業療法士の目から見た、子どものことばとところ、からだの発達、池田千紗
- 公益社団法人発達協会オンライン研修、2023年9月、保護者も知っておきたい園・学校生活における合理的配慮、池田千紗
- 札幌市立新琴似緑小学校校内研修、2023年10月、通常学級における特別な配慮・多様な学びの支援について池田千紗

- 札幌市立南月寒小学校校内研修、2023年12月、“学びの土台づくり”を考えよう、池田千紗
- 札幌市立南月寒小学校校内研修、2023年12月、通常学級における特別な配慮・多様な学びの支援について、池田千紗
- 北海道星置養護学校校内研修、2023年12月、知的障害のある生徒の不器用さのアセスメントと改善のための指導方法に関する研修、池田千紗
- 令和5年度 札幌市障がい児保育研修、2023年12月、保育の中での支援～遊びの中で取り組む生活動作～、池田千紗
- 第5回千歳市特別支援教育研修会、2024年1月、不器用さ等がある児童生徒への支援について～作業療法士の視点から～、池田千紗
- 第23回 北海道アダプテッド・スポーツ研究会、2024年2月、札幌市との連携による身体及び身体活動に関わる支援について 一療育ではない地域とのつながりー、池田千紗
- 第3回北海道心理・教育アセスメント研究会、2024年2月、視機能と視覚認知について～書くことに関わる見ることのチカラ～、池田千紗
- 子labo（学校教員と医療専門職による事例検討会）、2023年10月27日、11月24日、12月15日、2024年1月26日、2月16日、教育大サテライト（対面+オンライン）
- 知的障害児個別臨床授業・小集団臨床授業において、札幌市内通級指導教室担当教員の参加による連携・支援方法の検討を実施・山下公司

7 その他、研究実施状況

1-1 特別支援教育巡回相談員配置事業の事例研究

現在、指導主事と事例の選定方法および執筆担当者について検討中。

1-2 医療専門職の活用状況と支援ニーズの調査

医療専門職が配置されていない札幌市立幼稚園、小学校への訪問支援を実施し、支援ニーズの把握と医療専門職の活用方法について検討を行った。また教育委員会の研修会や校内研修、事例検討会（子labo）を通して、医療専門職の実態把握の方法や子どもを見取る視点を学校教員に理解してもらう機会を設けた。次年度は北海道作業療法士会（以下、道士会）に本研究への協力（作業療法士の派遣）の内諾を得ているので、現在教育委員会からの依頼文を送付し、医療専門職の活用できる学校を増やしていく。

≫学校訪問29回 支援対象60ケース

南月寒小まなびの教室18回（17ケース）

北九条小まなびの教室2回（6ケース）

柏陽幼稚園2回（6ケース）

清田小まなびの教室2回（1ケース）

栄町小特別支援学級2回（22ケース）・通常学級1回（2ケース）

琴似小まなびの教室3回（6ケース）

次年度に向けて教育委員会と共に以下について検討を進めている。

≫道士会の作業療法士の派遣

次年度は琴似小学校、栄町小学校、柏陽幼稚園の順に、道士会の作業療法士が訪問できるようにする。

≫派遣される作業療法士の訪問時間

1 枠 2 時間で相談内容により訪問時間を決定

個別ケース相談（1 枠 2 ケースまで）

授業相談（1 枠 1 コマまで）

校内研修（1 枠）

保護者との面談（1 枠 1 ケースまで）

その他

≫学校訪問の報告書の書式作成

学校教員、作業療法士双方が負担なく成果を蓄積できる書式を作成中。報告書を基に、主訴に対して作業療法士からどのような提案がされるのか、パンフレットを作成する。

2-1 発達性ディスレクシア（dyslexia）の早期把握と支援方法の開発

・令和5年10月～令和6年2月に、8名の児童に対し、心理検査を実施した。

（児童の在籍園は、中央、もいわ、きくすいもとまち、手稲中央、はまなす幼稚園の5園）。

・令和6年3月、札幌市教育委員会より、上記8名の児童が入学する市内小学校の学校長に本研究の目的や実施方法について連絡するように手続きを整えた。

・令和6年度の幼稚園児の新規募集は、6月末を予定している。

2-2-1 自閉症スペクトラム障害（ASD）の視線研究と支援方法の改善

- ・令和5年度は、実施しなかった。
- ・令和6年度は、児童・生徒の授業中の視線計測について、対象児や計測場面についてふじのめ学級のスタッフと協議していく予定である。

3. 札幌市における特別支援教育の総合的検討

- ・インクルーシブな自由遊び「キンダーぷらっつ」における取り組み
札幌市内の障害のある子どもを含めた児童生徒の自由遊びにおける支援方法に関する資料収集を行った。9月23日、10月14日（コラボ企画「モデルロケットを打ち上げよう」）、11月18日、12月16日、1月20日、3月23日（コラボ企画：3Dプリンターで光るチェキスタンドづくり）
- ・札幌市との連携企画として、インクルーシブな自由遊びを実施
「みんなのあそびば in 北ガスアリーナ札幌46」、日時：令和5年11月23日(木)勤労感謝の日 9:00-12:00、参加対象は、おもに幼小中学生/特支・特支学級、特別支援学校等の児童生徒、総数115名(うち子ども61人)、学生40人が参加
- ・「冬休み、札幌ドームが公園に！チャレンジスポーツパーク2023」企画協力、日時 2023年12月26日、27日、会場 札幌ドーム、総勢約900人が参加